花

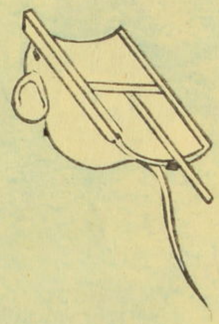
金

へ13
3689
5

門 へ13
號 3689
卷 5

金花七変化 全

三編上の巻

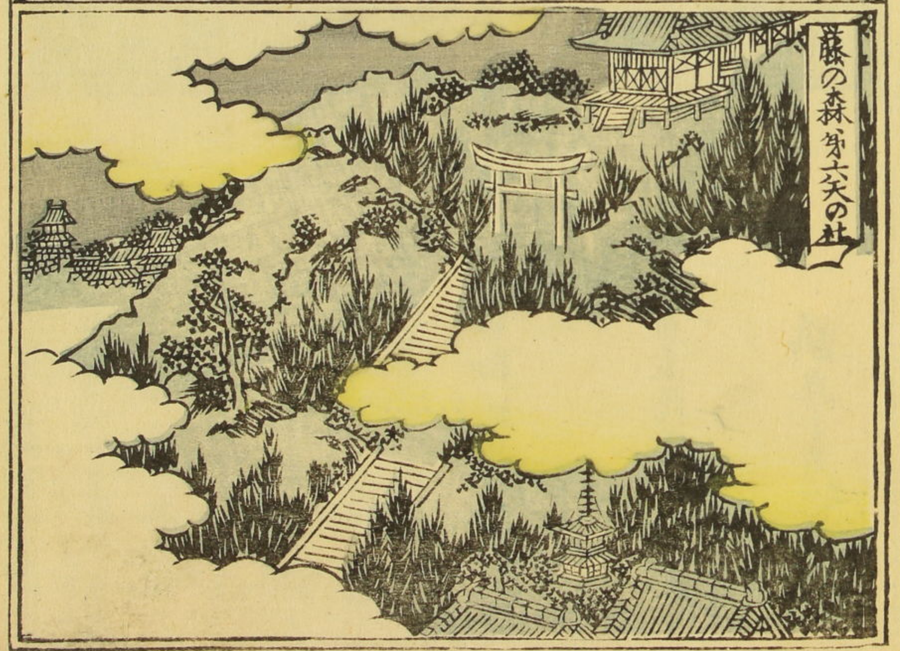


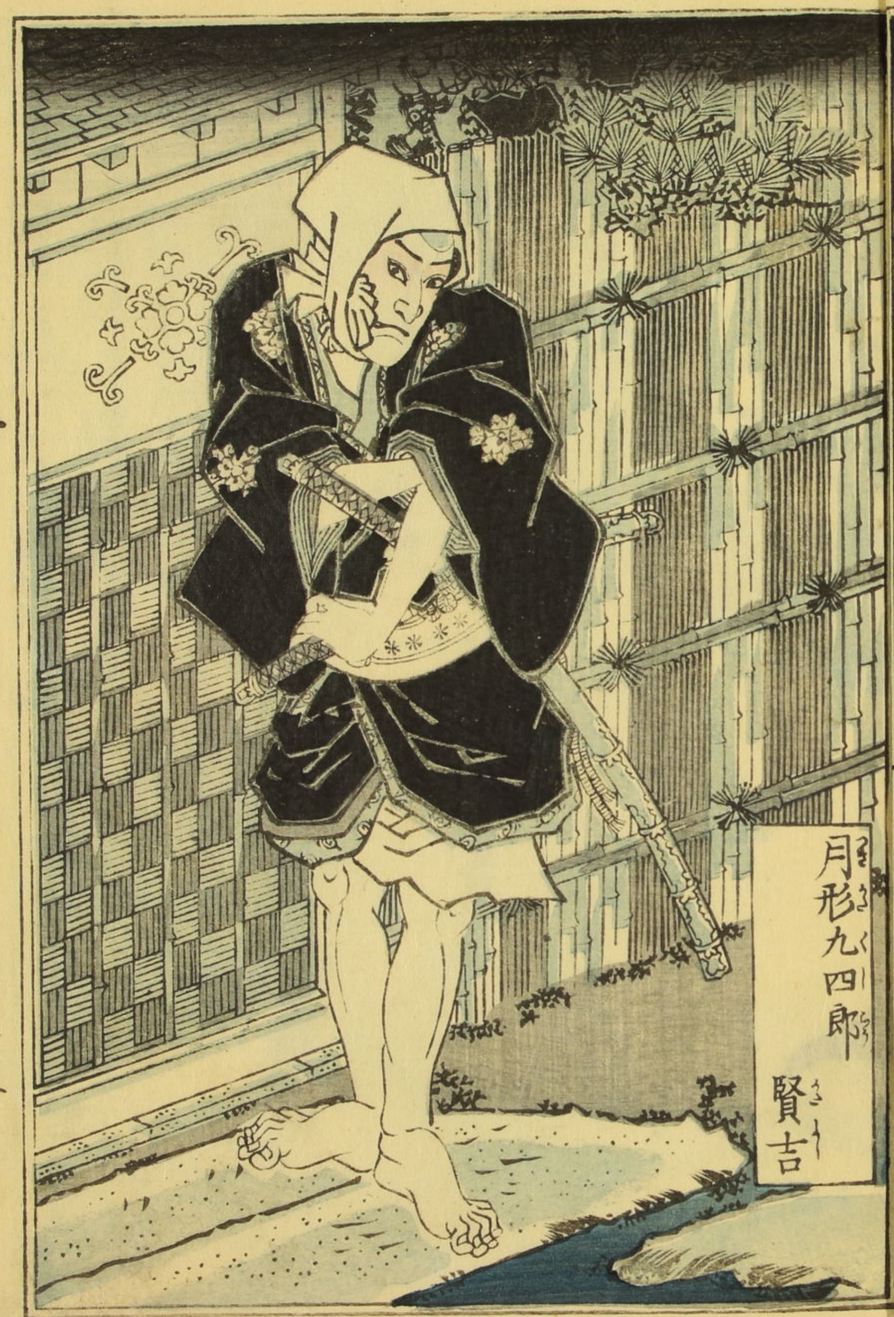
歌川國貞画
為永春水作
慶長玄

為亭
春賀版
金松堂梓

緒言

古人既に言る支あり方蓋を以て正に圓器を作ると是あん方圓の相違ある義理を解るなり今や稗官者流も主とする處を視るに方成角字の小説を以て圓き仮名書れ拝史とう或ハ方なる編屈人とも圓き浮世通と書作を杯弥〻からぐと錐も夫ハ體と棄て骨を換ら筆頭の機関を做ら故事方圓の齟齬ある綺ろく看官ぬしてて佳境ぬ入りむるれど僕如きハ爭ろさる





月形九四郎
賢吉

所為と能做さんやうの人真似猿智恵
こヒツカキ散々出放題も千奥五編の
稿脱ー金華譚の七変化是で方成
蓋と以て圓き器小充るが如く隅々
迫ハ譚も不石明地の澤山有之れど牙ハ
ち剛柔の國貞が精心凝せ画をせめて
埋草なりとも御覧ーあくかーと
よひ願ふ

萬延二辛酉孟陽発兌

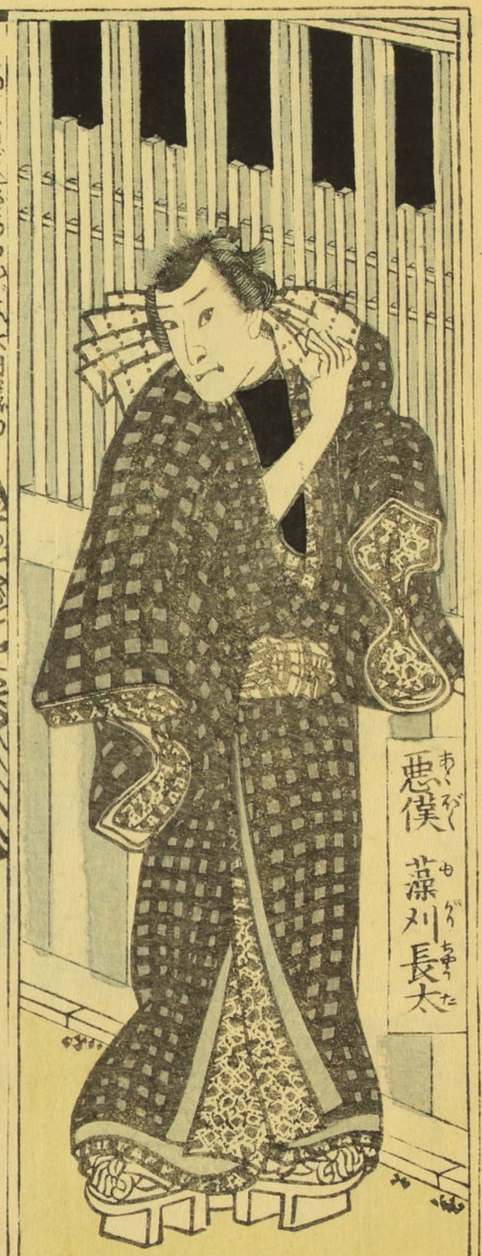
鶴亭秀賀記

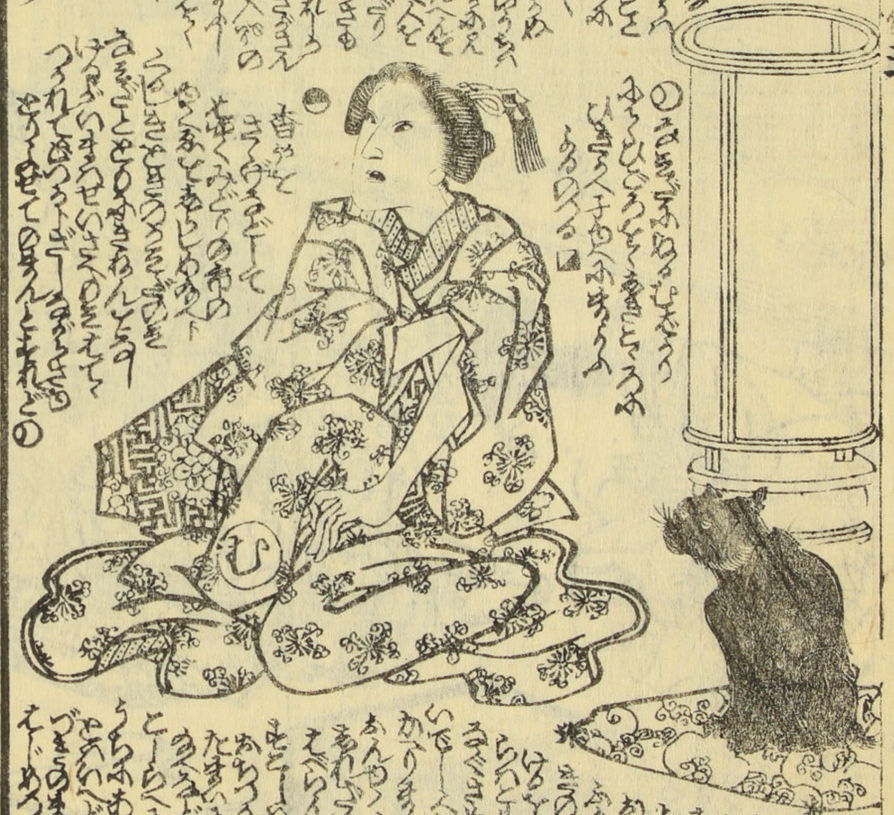
山口の豪富
水口屋
吉右衛門
始め大磯
京外屋の
遊君
和哥浦
後ハ
水口屋の
隠妻と
なりしが
故ありて
去る

古川検校の
妾と
なる

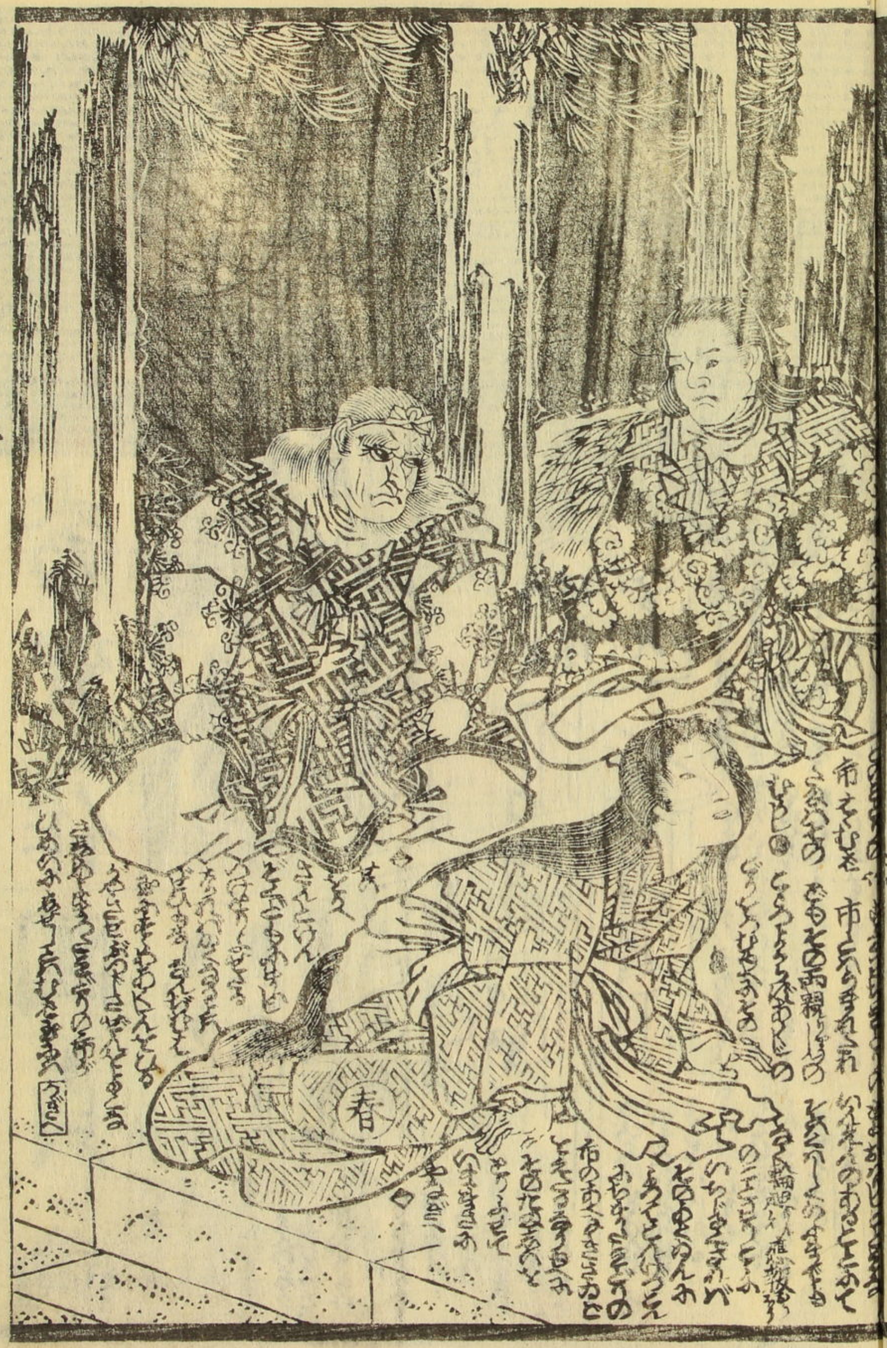
婬婦
葵虫

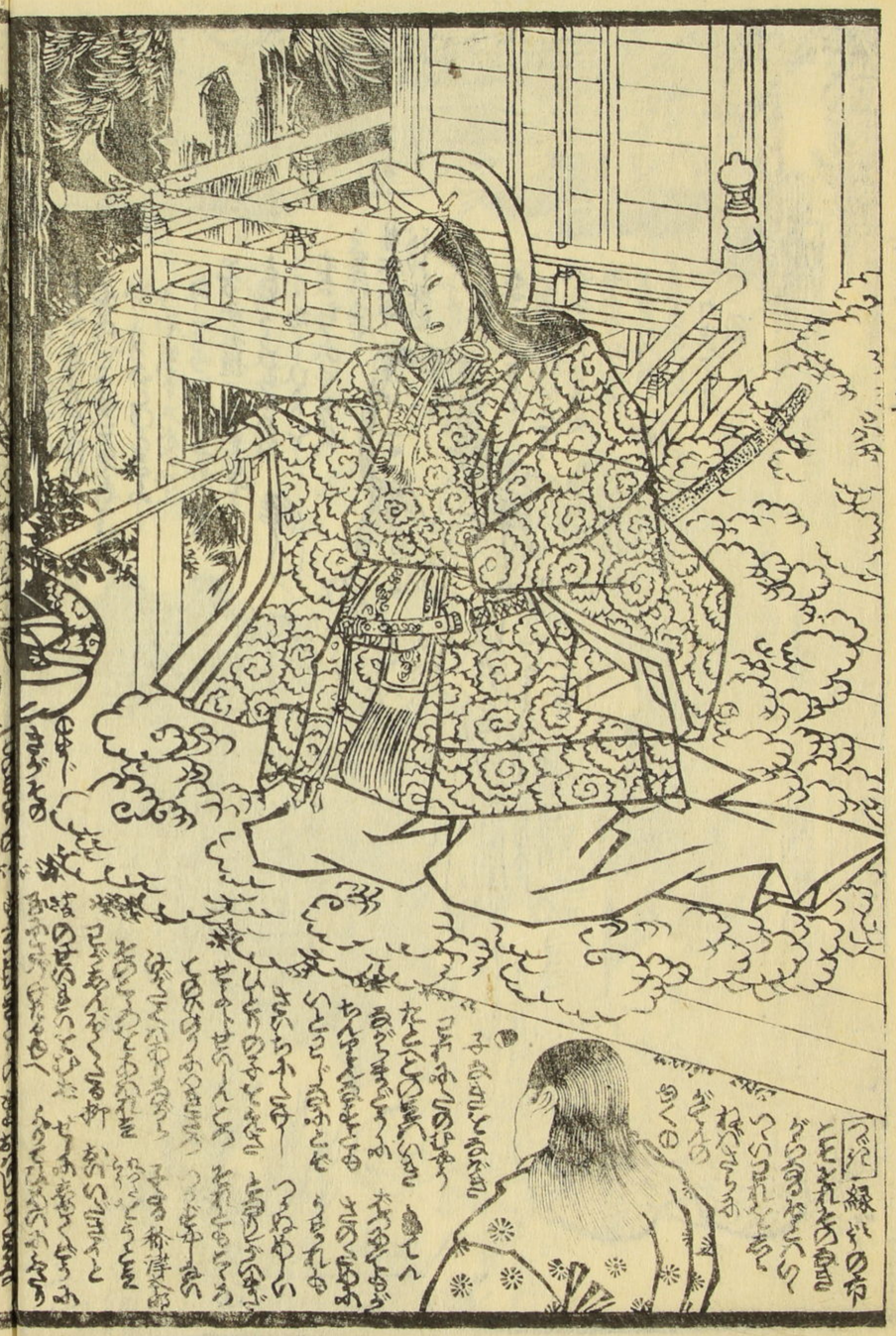
悪僕 薙刀長太





春





鶴亭秀賀作
歌川國貞画

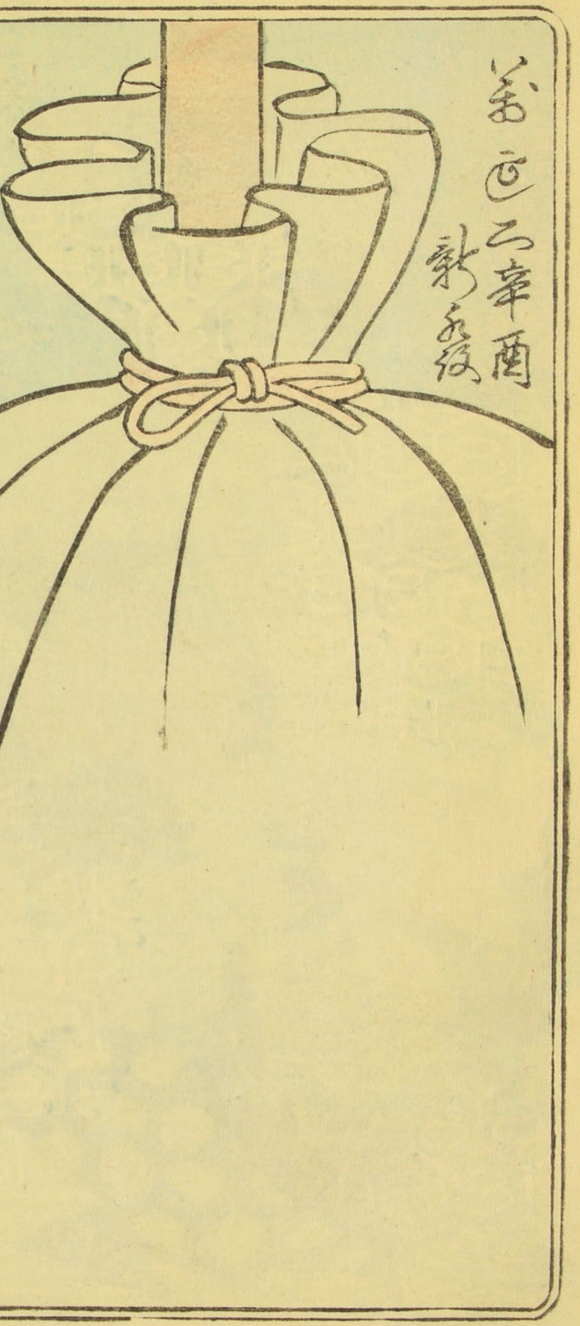
後編

下の巻

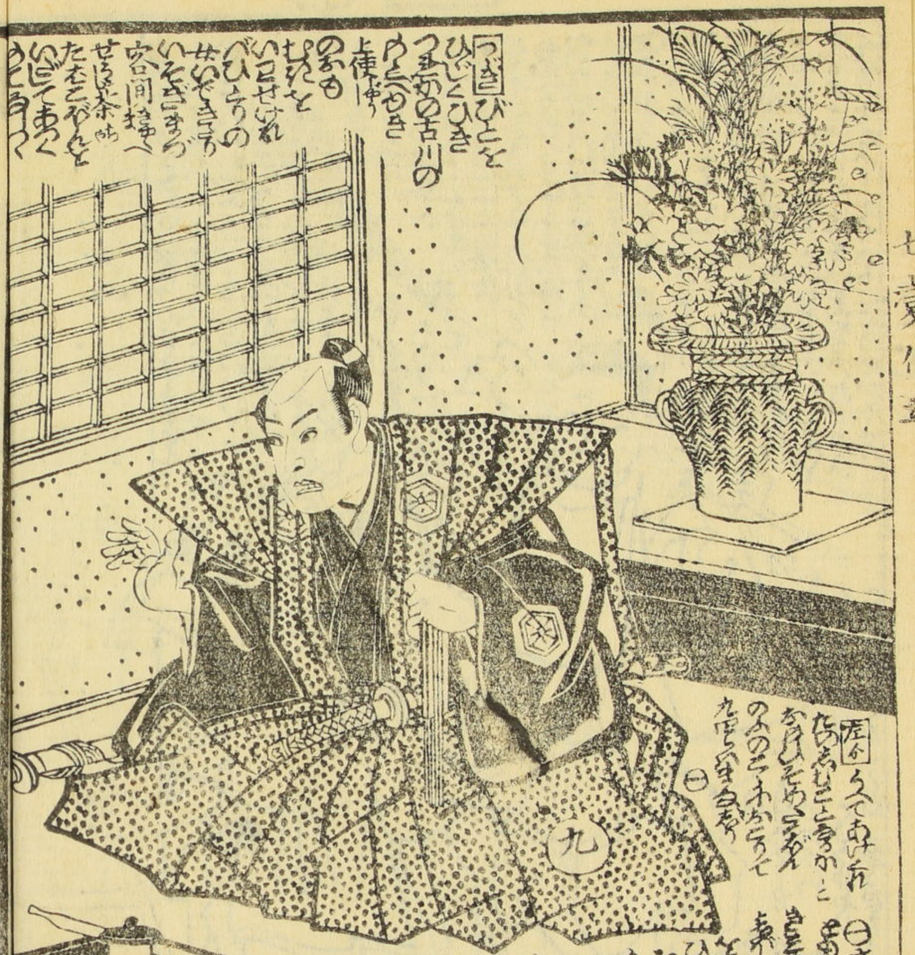
秀賀作國貞画

上の巻目次
えや宮奴さや
ものさきようゆせん
やふきうなでとかうゆてうをぜか
ありけれいおおろきうもろのいおうこ
ろう三のおつげまこう
の市の非業ひうふ
二三戒ありてこの
うたんおれうこ
ろうせいのまい
おもこ
れふくうの異様の
ありこまふんかもの
もうこあてこ
ぐそいそきうこうろがそく
ものうめくこてまき二月形
なんなにんいけふおのまふ
けふおてふひこまふ
きめくうのかうふおの
つとうまうんこうちもしてそふ
かくおのまてまきうこのり八キを巫
をのふせきうのふひうふ色をうまうこが
あてあうこさせんとるまこまもこり
が右きこいへひこ　このひそのいふんを
たてんとのこりろをけるもうの古川のひと
ふうもふトをそうこのりのかふんてのの
□
かつへへき
気血もろけ
れふくうの異様の
ありこまふんかもの
もうこあてこ
ぐそいそきうこうろがそく
ものうめくこてまき二月形
なんなにんいけふおのまふ
けふおてふひこまふ
きめくうのかうふおの
つとうまうんこうちもしてそふ
かくおのまてまきうこのり八キを巫
をのふせきうのふひうふ色をうまうこが
あてあうこさせんとるまこまもこり
が右きこいへひこ　このひそのいふんを
たてんとのこりろをけるもうの古川のひと
ふうもふトをそうこのりのかふんてのの
□
うみあいも
ひこうふい
そうそうきあり
□
まうこまうれ
あこうこうれうも
そのまくうもも
おうれざれがきき
もうこいつまふみせうこうゆうの
あうまうこうれいこうゆもつきへ

第三回　二幸閣
歌麿



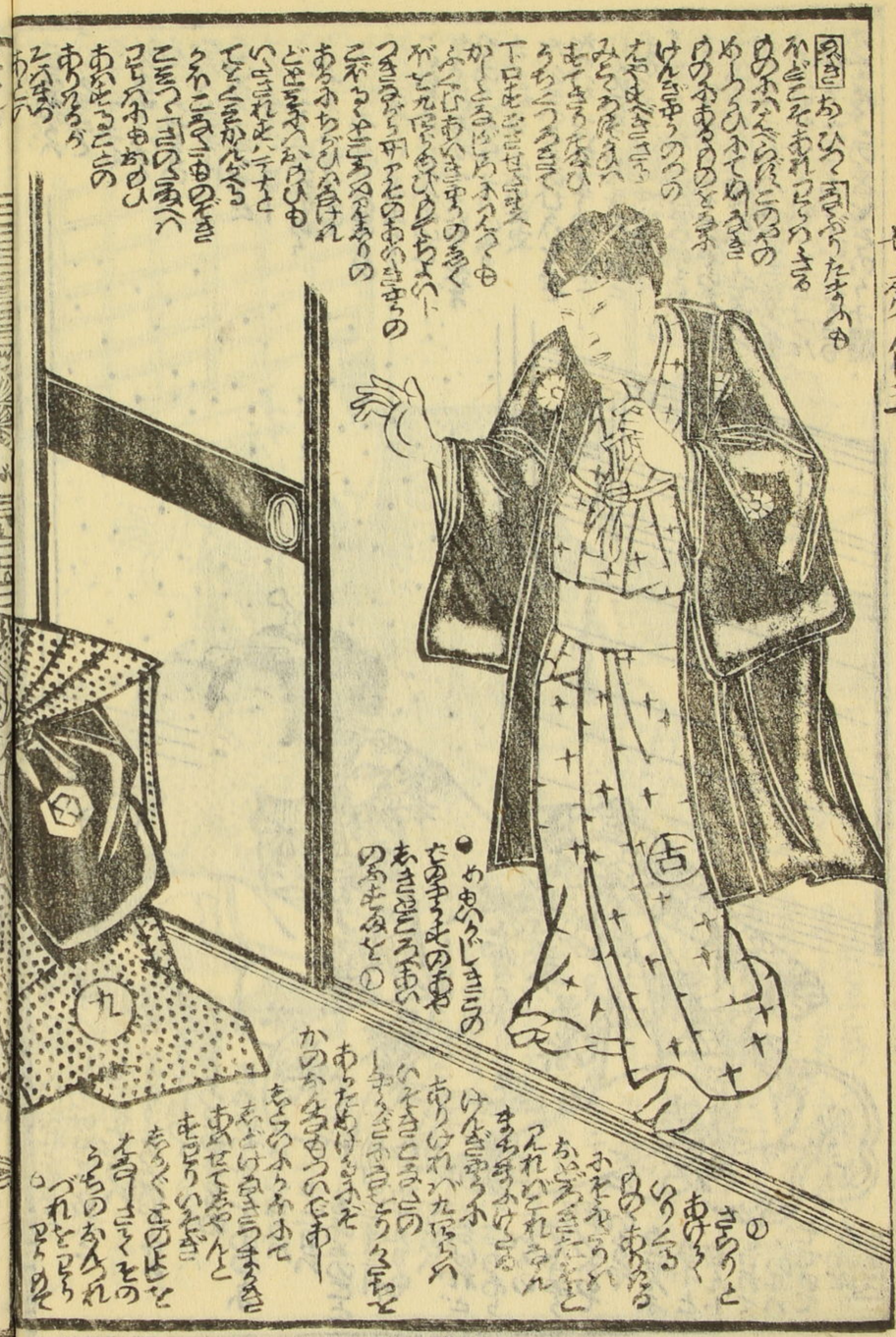
雪も七度紀
五篇ノ内
歌まろ美女絵
歌川豊国
艶長玄



つぎの間ひとをひじくひきつまみの古川のひとへやきの上使ばかりのあるをいろせけれべひとりのおやぢきうりいそぎまつ客間はきへせうじをあけたてをひじてあく

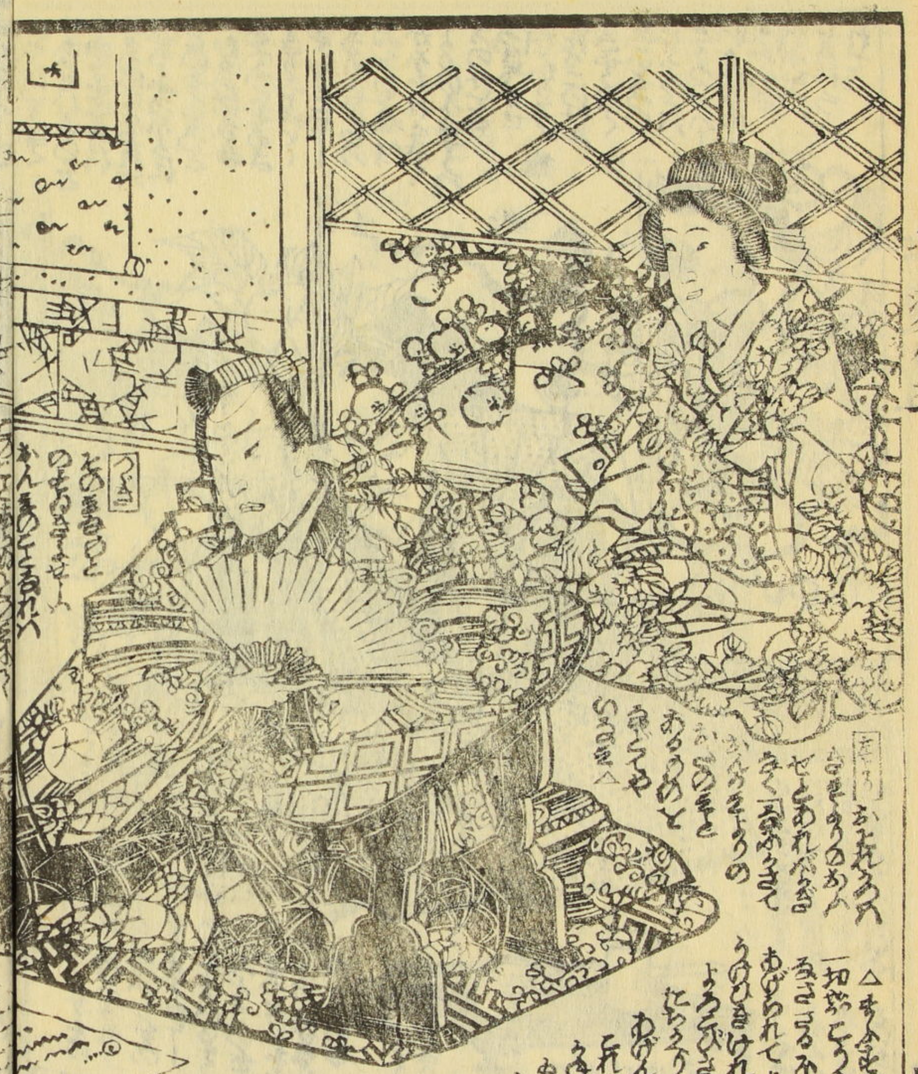
一さてもそれにつけてもあのやうにとられどもあのうみもけしきのうわれないやうなおやぢそのほうおまへのやうなおやぢのやうなものこれおこうしてをとゝひけふきまりのうるたのそれかのおとこをかりてもうそくいつてもうそくまたれるのみやうにこゝろくさをくさのさるとてもさけをあてゝものつまみこれりてあこゝろもとこゝろにさよのふりうるごさうそくおこゝろのかこのあやとのひとこゝろかと上使ばかりまうそのそうをまうこゝせんめのとのつりやうをとられてかこゝろもあれる月のうへくさのまうでまつ月ばかうへみやはなれたれどもあせうるとこゝろれればあるのうりをまちこゝろふうちのかたこゝさせこゝへ巳さうそうちのうもうをまうひとをのこゝろもくのおやぢのうへ

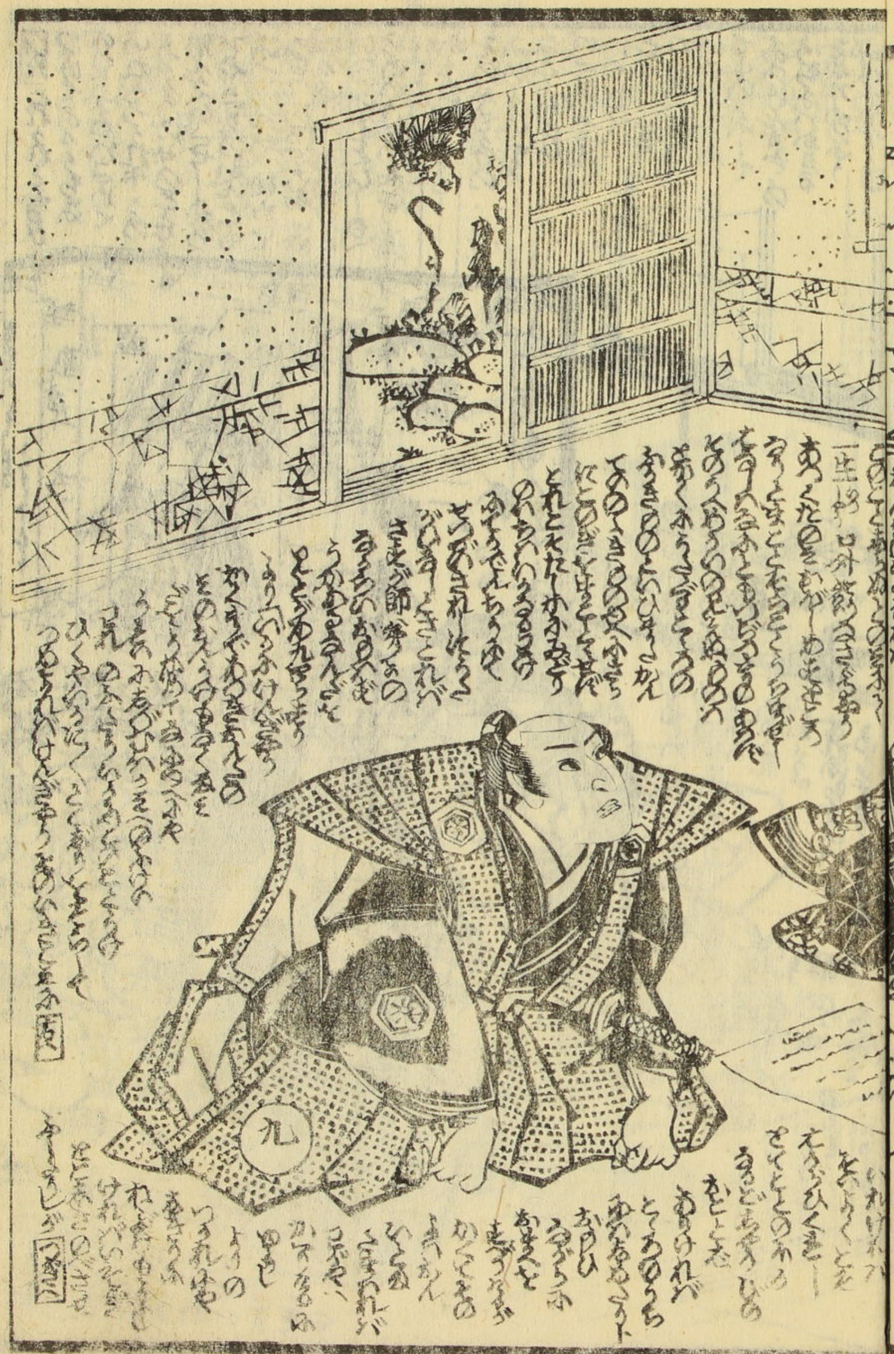
さとのおうへのいうろうをのたへるやけぢをもうへてあつうせうのごちうざまうにあんばかりへかくてんさんやうへこゝろのうるこゝろをかうしよあてをせんめのとまりおさうこゝろへやうろうにくもおうさんのこゝろをせうこゝろあけぢをたゝへとあつめのうきうおけぢをうへぐくうてまううろうやうきよめのおれつてさうこゝろをあつてあまのうへをまうさうのこゝろをまうふもあれかけこゝろへやうろうのこゝろ

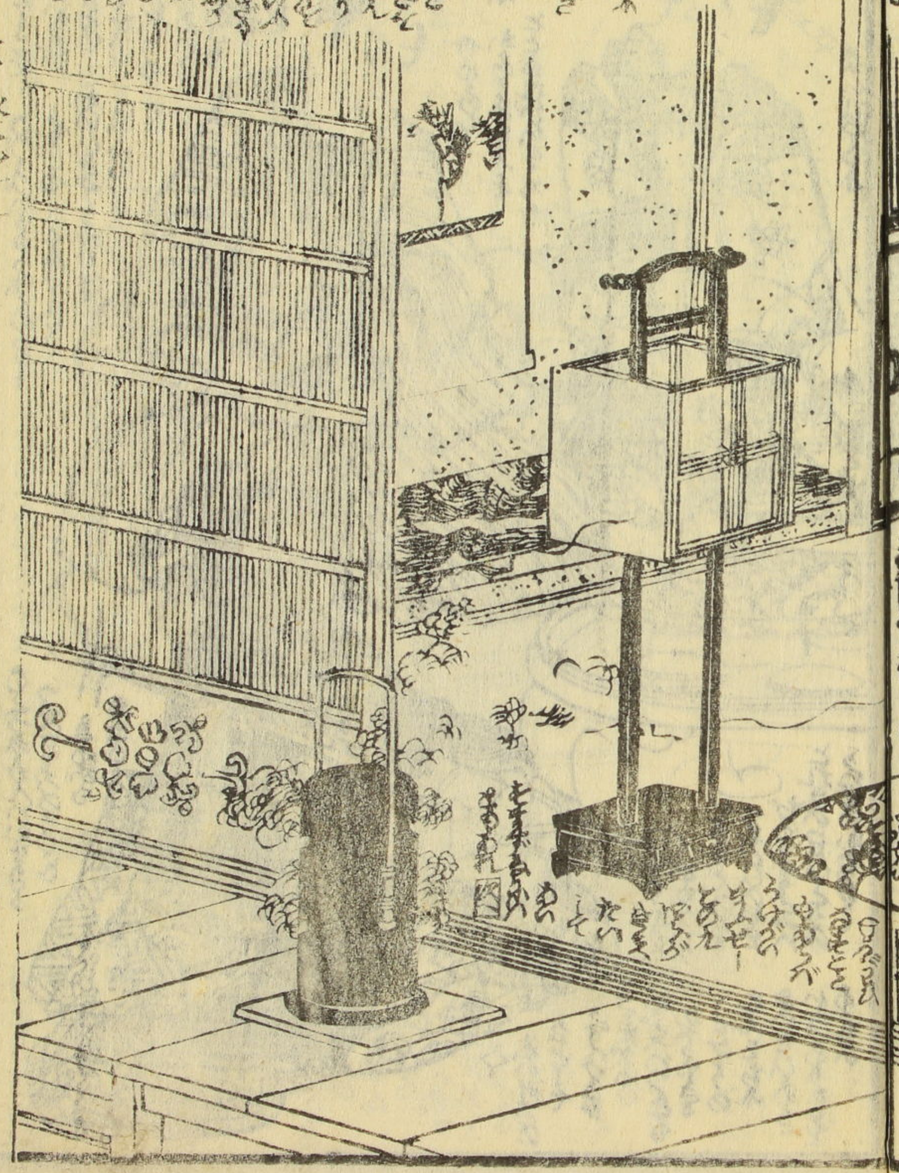


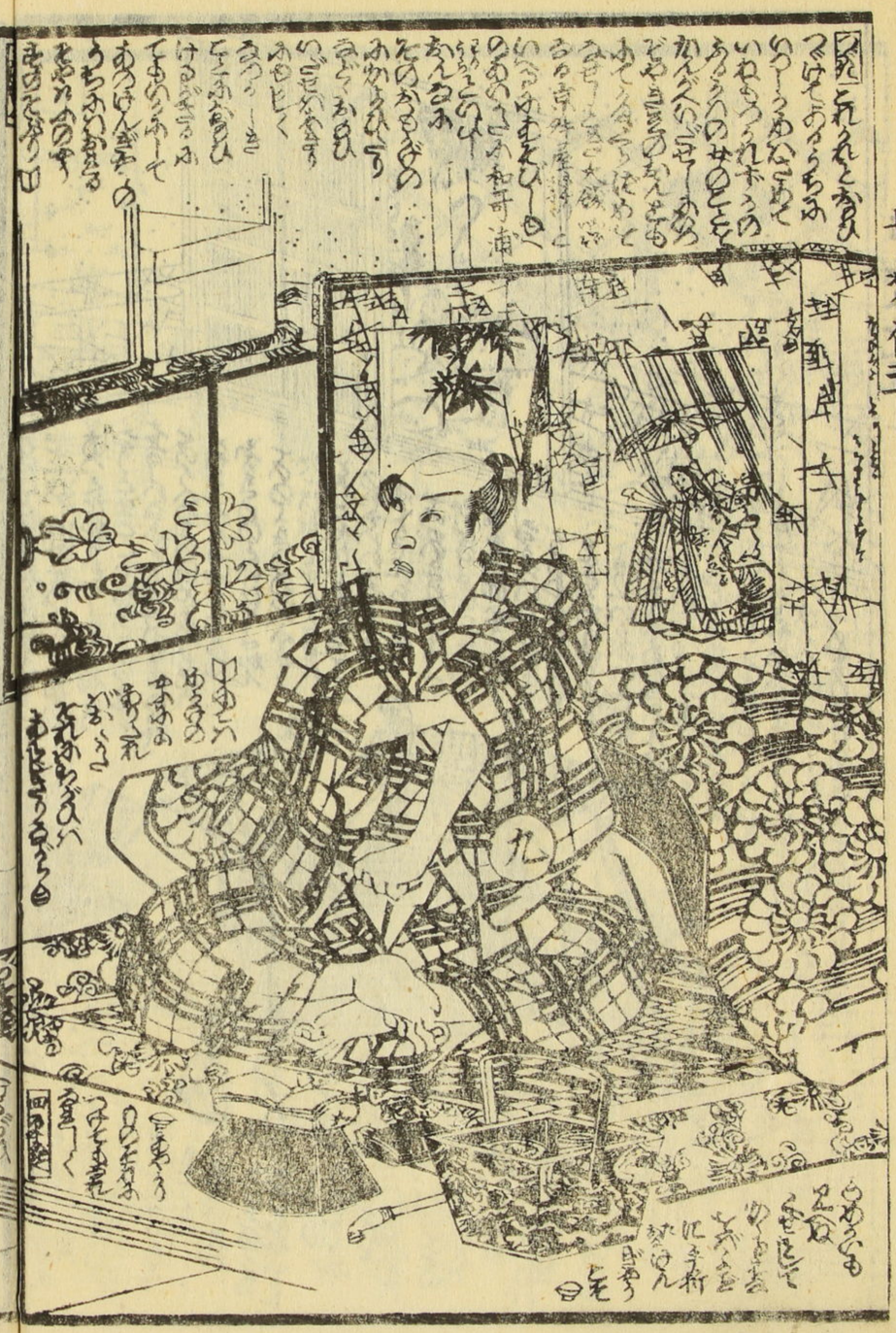
古

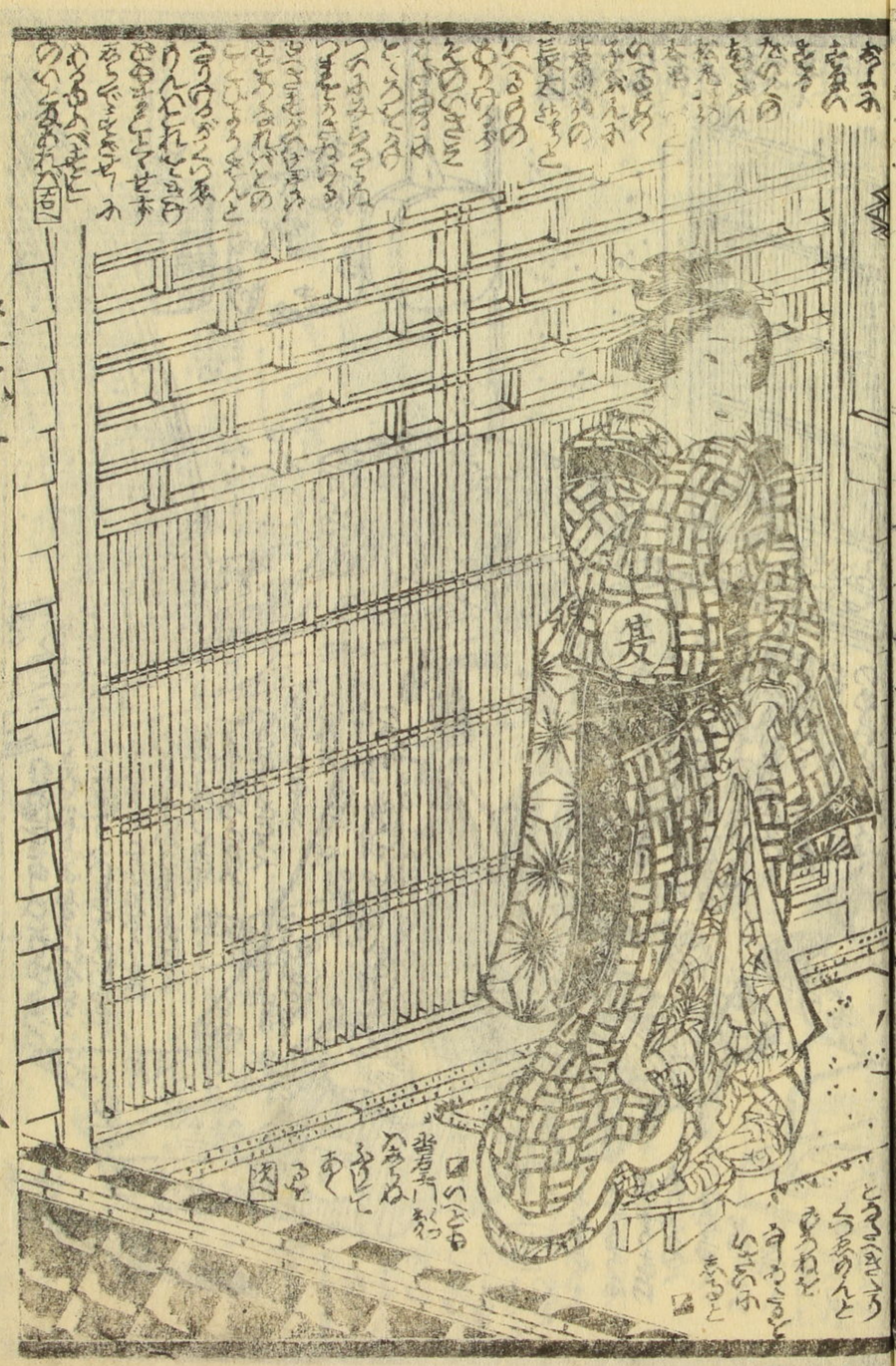
九









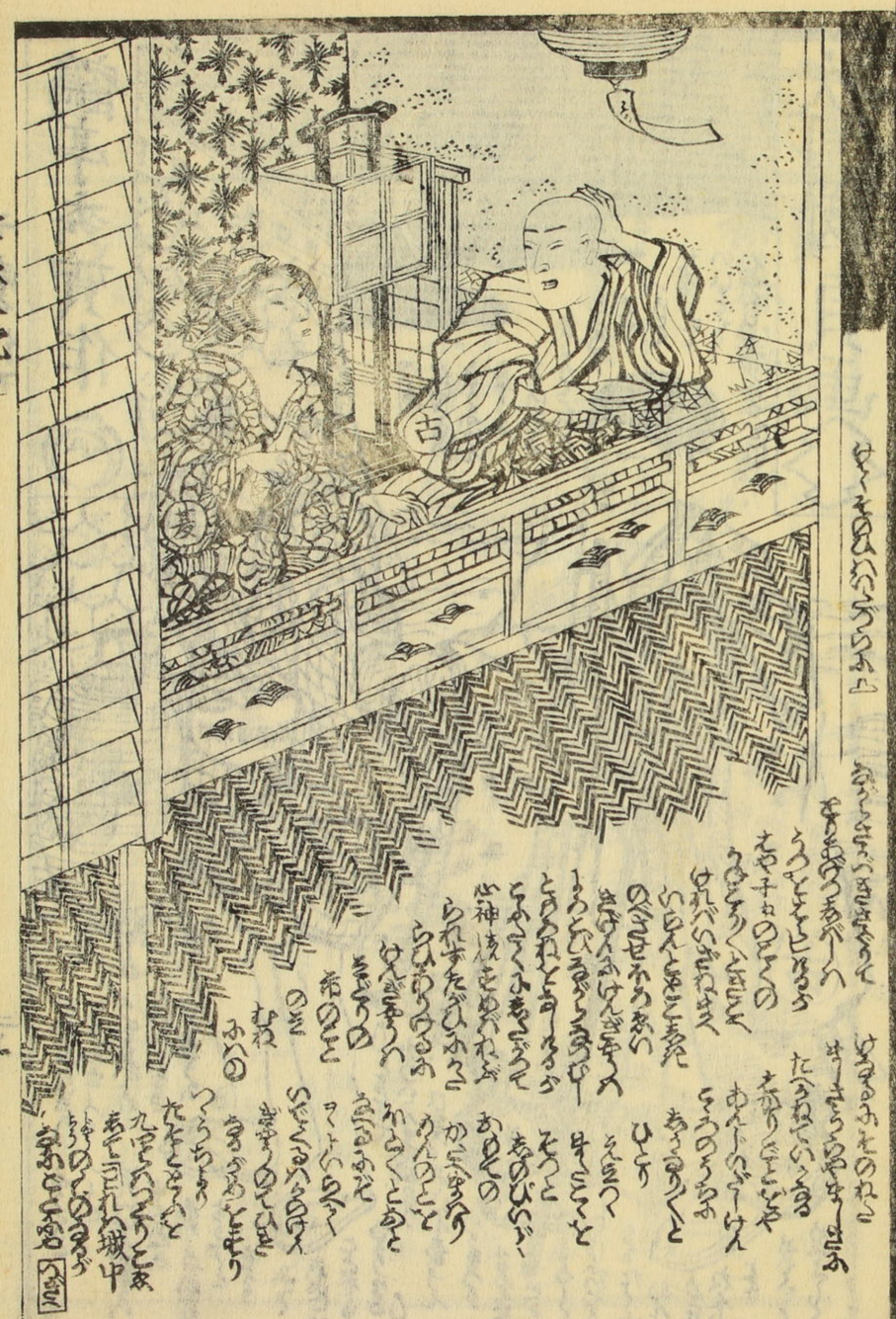

長
吾

長
吾

夏
古

門

九


古

鶴亭秀賀作

歌川國貞画

柳幕魁双紙　初編　為永瓢長作　追加八編　一壽齋國貞画

金洞水幷石川　初編　花笠文京作　二編　一勇齋國芳画

都鳥汀松若　初編　柳水亭種清作　三編　同　画

初紅葉小倉色紙　初編　為永瓢長作　五編　同　画

蝶衝亀山染　初編　為永瓢長作　二編　同　画

義経千本櫻　初編　為永瓢長作　二編　同　三編　同　画

縁綱詞花咲丹　初編　半文学英壽作　二編　一松齋芳宗画

當利生一網　初編　為永瓢長作　二編　歌川國盛画

濡衣女鳴神　初編　瓢長改為永千童作　二編　一壽齋國貞画

地本問屋　辻岡屋文助　金松堂　江戸両國横山町三ノ目